



わくわくするアート作品を 定期的にお届けします！

障がいがあるからってじっとしてなんてられない！

障がい者福祉施設「ノーサイド横沼」のアーティストたちは、手を使って足を使って、体全体を使って想いを作品に表現しています。

作品から感じるパワーを、一人でも多くの方に感じていただきたいと思っています！

絵のリース契約について

3か月ごとに作品の交換に伺います。(料金：月々16,500円 税込)

ノーサイド横沼所属のアーティストのいろいろな作品を楽しんでいただけます。

アート作品をご覧
いただけます →
横沼 Instagram



NOSIDE.YOKONUMA



小原和真 (おはらかずま)

1996年5月生まれ
大阪府立光陽支援学校卒業

制作の様子



『今』の気持ちを全身を使い、描いている。絵画を中心に、画用紙やキャンバスを使い、誰にも真似できない作品を描き込んでいる。

普段は車椅子に乗り生活している。

人が大好きなので自分からコミュニケーションをとる。

音楽やリズムを奏でることも大好き。

～音の足跡50000色～ 小原和真



F.C. OSAKA

NO SIDE!

障害者総合支援法及び、児童福祉法に基づく
障がい福祉サービス又は地域生活支援事業



お問い合わせ・お申込先

株式会社F.C.大阪
ダイバーシティ推進本部
小谷・並木

〒577-0056 大阪府東大阪市長堂1-9-6

TEL: 06-6264-2411

FAX: 06-6264-1921

Email : kotani@fc-osaka.com

SDGsとは ～持続可能な開発目標～

2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会の共通目標です。サミットでは2015年から2030年までの長期的な開発の指針として、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。この文書の中核を成す「持続可能な開発目標」を、SDGsと呼んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ノーサイド横沼のこと ～アートをお仕事に～

ノーサイドでは、どんなに障がいも重くても仕事をすることでやりがいや生きる喜びを感じることができるよう、利用者さんとスタッフが一緒に日々工夫をしています。

そして、何よりも仕事を通じて社会と繋がることを大切にしています。

その中で、アートの施設ノーサイド横沼では、さまざまな障がいのある方が「やりたい事」「自分の気持ち」「夢」という想いを形にするためにアート活動を行っています。

アートを通じてたくさんの方と繋がりたいと思っています。

私たちは、障害のある人もない人もみんなで支え合い、一緒に楽しく生きて行ける優しい世の中を目指しています。



ノーサイドHP



～笑う～ 辻田泰清



～ひまわり～ 早川ひかる



ノーサイド横沼